



社会医療法人
同仁会
Dojinkai
Social Medical Corporation

私たちの理念「一視同仁」

同仁会報みみはら

2022年7月1日発行

第117号



発行 社会医療法人同仁会 同仁会報編集委員会 〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-2
TEL 072(244)7260 FAX 072(247)0165 URL <https://www.mimihara.or.jp> (同仁会HP)

参院選

7月10日(日)投票

ぜひ投票に行き

いのちを守る政治に転換させよう

望みの木

社会医療法人 同仁会 理事長 田端 志郎

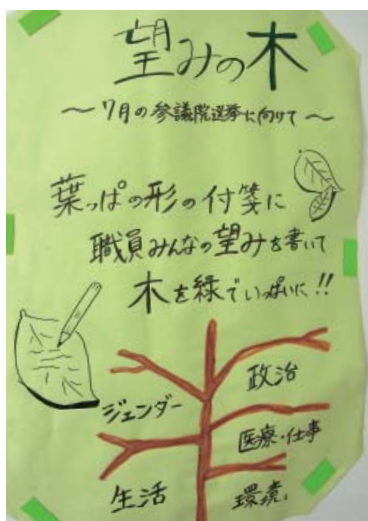
医療・生活・平和・経済・子ども
環境・政治・ジェンダーなど

職員みんなの望みを集める木

枝はいくつも伸びている

葉っぱの形の付箋に
望みを書いて木を緑で
いっぱいにして

すべての役職員、および健康友の会みみはらのみなさん。7月に行われる参院選挙は、私たちの思いを政治に反映させる、とても大切な選挙です。



密接に政治と関連している
医療と介護

私たちはコロナ禍の2年間、無差別・平等の理念を胸に、「まず診る、援助する、何とかする」の方針を具体的に実践し、人づくり、運動、経営を發展させてきました。この場をお借りして、皆さんに心から感謝申し上げます。

医療と介護が、密接に政治と関連していることを、私たちはこの間、痛切に感じてきました。今年度の診療報酬改定は、コロナ患者さんの診療を地域で支えてきた中小病院の経営を、まさしく破壊するような内容でした。今年の秋からは、75歳以上の医療費窓口負担の2倍化が実施されます。私たちは、日本の医療・介護政策を患者さん・利用者さんの立場に立ったものに変えていく必要があります。

日本の政治のあり方に
大きな憤り

同仁会の無料低額診療事業を利用される方が増え続けています。お一人おひとりの困難の工ピンドは、本当に身につつまされまます。「フードバンクみみはら」で見られた、小さなお子さんの手を引いた女性の姿、遠方から自転車をこいで来られた非正規労働の若い男性、荷物を持って帰れるのか心配になるような高齢の方、生理用品を手にして「助かるわ」と喜ぶ若い女性たち。このような風景が日常になってしまった日本の政治のあり方に大きな憤りを感じまます。

平和憲法を持つ
日本だからできる国際貢献を

私たちは今、「平和を守るために必要なこと何なのか」について深く考える必要があります。「軍隊には軍隊を」ではなく、平和憲法を持つ日本だからこそできる国際貢献があるはず。今回の参議院選挙は、私たちの理念を現実させていく上で、また憲法9条を守っていく上で、非常に重要な選挙になります。ぜひ投票に行き、いのちを守る政治に転換させていきましよう。